

# サーモスタットの温度調整について

対象商品：SP-72-T1、SP-75-T1、SP-72-T2



サーモスタットによる温度調整については、以下の点をご確認ください。

## 1. 湯水同圧となっているか確認

湯水同圧かつ、最低水圧が 2.5kgf/ cm<sup>2</sup> (0.25Mpa) を確保する必要があります。

快適なバスライフのためには、最低水圧を 3 ~ 4kgf/ cm<sup>2</sup> (0.3 ~ 0.4Mpa) 確保することをお勧めします。

## 2. 給湯器の温度設定は適切か確認

サーモスタットは、給湯・給水を混合することによって、混合湯温度を自動調整します。

その際、給湯温度を混合湯より最低 10℃(推奨 15℃) 高く設定する必要があります。

例：混合湯温度が 43℃ の場合、

混合湯温度 43℃ + 15℃以上 = 給湯温度 約 60℃以上 ※推奨 65℃以上で設定

## 3. サーモスタットの温度調整が正しく動作しているか確認

通常、試運転と温度調整をされた状態の製品を出荷しておりますが、何らかの理由で温度調整がくってしまった場合、現場の引き渡し前に行われる、器具試運転時に設備業者様が確認の上、下記の手順で温度調整を行ってください。

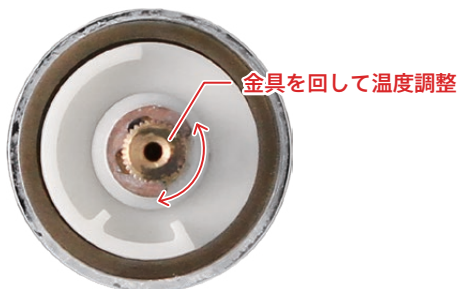
例：SP-72-T1



- ① ハンドルを反時計回りに回して取外す。
- ② 中にある六角ネジを六角レンチ (2.5mm) を使用して反時計回りに回して取外す。
- ③ 化粧カバーを引き抜く。

※①～③の作業が分からない場合は、別資料

【サーモスタットハンドル部分取外し方法】をご請求ください。



- ④ 温度調整を行う金具を回して、温度調整を行います。適温の所で化粧カバーが垂直に取り付けられるように都度調整を行い、位置を決定させます。調整後、①～③の作業の逆手順で取付作業を行ってください。

化粧カバーを取外した状態の正面写真